



前号で、「暦の上では春はもうそこまできています」と書きましたが、雪が舞う日もあって、まだまだ冬の真ただ中にいます。感染症予防の「まけないよー」に取り組み、睡眠、食事などに気をつけた生活を送ることで、健康に気を付けましょう。寒いので、ポケットに手を入れたまま歩いている人も目立つようになりました。手袋をして両手は出して歩きましょう。また、特に寒い時は、元気な声であいさつすると体があたたまりますよ。

小学生のおしゃれ障がい



「おしゃれ障がい」という言葉を知っていますか？「おしゃれをしようとしてひき起こされる健康障がい」のことを言うそうです。具体的な症状として、

- ・パーマや毛染めで髪がいたむ
- ・ロベにヤリリップクリームでかぶれる
- ・マニキュアで爪が痛んだり、かぶれたりする
- ・どんなにやせても満足できない
- ・アクセサリー等により金属アレルギーになる



といったことが報告されているそうです。

特に注目したいのが、髪の毛のことです。髪の毛は、もともと皮膚が変化してできたものですが、一度傷つくと元には戻りません。髪の毛には、頭を守ったり、頭皮の温度を一定に保ったりする働きがあります。これらのことから、小学生のパーマや毛染めについては、化学薬品を使うことから、皮膚や髪には刺激が強すぎて、アレルギー反応が起こりやすくなると言われています。アレルギーが起こると小学生のやわらかい皮膚や髪を、かゆみ・かぶれ・抜け毛などで傷つけてしまう恐れがあることが指摘されています。

多様な考えが認められる社会ではありますが、健康が一番大切にされる必要があると考えます。つきましては、令和3年度より「桜台っ子『学校生活10のやくそく』」の見直しを行い、「パーマや毛染めをしない。マニキュアやアクセサリーを付けない。」ことを加えたいと考えています。

ご理解とご協力をお願いします。

登校指導ありがとうございます

毎月1回、PTAの役員さん、委員さんに登校指導でお世話になっています。当番をしていただいた保護者の皆さんからいただいた1月の記録から、いくつか紹介します。

○あいさつも元気よく、班ごとにまとまり交通ルールを守って安全に登校していた。

○上の学年の子が大きな声であいさつすると下学年の子も元気にできる。

・「元気にあいさつしていく」ことを多くの方から教えていただきました。

○1年生の子が、1学期よりも左右確認や手をあげて横断することができるようになった。

○6年生や班長・副班長が列の後部まで気を配って、登校する様子が見られた。

▼集合時間に遅れる子がいると急いでしまっていて危ない。


▼遅れている子を呼びに行っているようだが、遅れるときは遅れると連絡すべきである。

▼全体的に元気がない、あいさつがない。

▼ポケットに手を入れて歩いている子がいたが、とっさの時に手を使えないので心配だ。

▼勝手をする子どもたちに班長が声をかけるのだが、手を焼いている姿を見かけた。



他に、見守りをして下さっているボランティアの方々への感謝の気持ちも届けていただきました。丁寧に様子を見ていただき、適切に声をかけていただいているおかげで、安全な登校ができています。学校でも指導をしていきます。ご家庭でも声掛けをよろしくをお願いします。(文責 矢田 )